

2025年度

# 学校関係者評価報告書

実施日：2026年 3月 16日（月）

学校法人斐川コア学園

出雲コアカレッジ

## 学校関係者評価委員会

1. 開催日時 2026年 3月 16日 (月) 15:00~16:00

2. 開催場所 出雲コアカレッジ 会議室

3. 出席者 (敬称略)

氏 名	役 職
高橋 尚彦	元飯南高等学校校長
陰山 篤也	斐川町商工会事務局長
北脇 正巳	特定非営利活動法人ミライビジネスいずも ゼネラルマネージャー
小倉 直樹	出雲コアカレッジ父母等代表
渡部 敏郎	校長
勝部 葉子	事務長
佐々木和歌子	学科長

4. 次第

- (1) 開会 (挨拶、配布資料確認)
- (2) 2025年度状況報告
- (3) 質疑応答、助言
- (4) 学校関係者評価表記入

## 5. 学校関係者評価結果

評価は4段階

適切…4    ほぼ適切…3    やや不適切…2    不適切…1

評価項目		評価点の平均
1 教育理念・目的		
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4.0
2	学校における職業教育の特色は示されているか	3.8
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.4
5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4.0
2 学校運営		
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.6
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.6
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.2
3 教育活動		
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.0
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.8
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.8
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4.0
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.6
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.0
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.8
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.6

評価項目		評価点の平均
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.2
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.0
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.0
4 教育成果		
1	就職率の向上が図られているか	3.2
2	資格取得率の向上が図られているか	3.6
3	退学率の低減が図られているか	3.2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.2
5 学生支援		
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.8
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.0
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.0
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3.6
7	保護者と適切に連携しているか	3.2
8	卒業生への支援体制はあるか	3.4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.2
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.0
6 教育環境		
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.6
3	防災に対する体制は整備されているか	3.6
7 学生の募集と受け入れ		
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3.4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6
3	学納金は妥当なものとなっているか	3.8
8 財務		
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.2
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.6
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.6

評 価 項 目		評価点 の平均
9 法令等の遵守		
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.2
4	自己評価結果を公開しているか	3.8
10 社会貢献		
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.8
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3.4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4.0

## 6. 意見等

- ・ 入学生確保について時代のながれに見合った方策をしっかりと検討してほしい
- ・ 学生参加型の学校PR方法を検討してはどうか
- ・ 産業未来博への参加は地域のこども達に将来の仕事について知ってもらう良い機会となる
- ・ 多くの卒業生が地元就職しており地域に貢献している
- ・ 学生の希望と適正に沿った就職支援がなされている
- ・ 情報系の就職活動は早期化している状況である
- ・ 出雲はIT企業が多く、本校も企業との連携が盛んである
- ・ 一般財団法人日本医療教育財団の「教育優秀校」に7年連続選ばれている
- ・ 資格取得や試験挑戦に熱心に取り組んでいる
- ・ こども福祉科2年生全員が保育士資格を取得し卒業式をむかえた
- ・ 教職員の待遇改善を図り、魅力ある講師、学科にしていく必要がある
- ・ 引き続き施設設備整備・改善に取り組んでほしい
- ・ 社会人向けの講座で、本校のアピールにもなるような講座を実施すべき（AI関連など）
- ・ 市に助言を求めるなどして講座の準備をしてはどうか

## 7. 学校の見解

- ・ 県内（特に出雲市内）にはIT系企業が多く、本校情報システム科の学生の就職先として人気が高いだけでなく、安定した採用状況となっている。また、医療ビジネス科についても地元法人・企業の求人数が十分な状況にある。本校の学生は地元出身が多く、高校卒業後の進路として、地元に残り職業実践専門課程である本校の学科で学び、地元法人・企業に就職する、この一連の大切な役割を本校は担っている。
- ・ 短期の受託職業訓練について、本校は長年の実績があり、今後も地域社会のニーズを考慮し展開していく。少子高齢社会において、本校の重要な業務部門の一つであると認識している。
- ・ 2026年度入学生について前年度より12名減となった。様々な社会状況を反映していることは

当然ではあるが、本校の募集活動や広報活動が適切でないとも言える。次年度にむけて現在、国道沿いに看板を設置すること、ホームページのリニューアルを行うことを決定し、新規の活動に経費を投じるとともに、委員の皆様からのご意見にあるよう、地域の行事に積極的に参加するなど、魅力の発信に注力していきたい。

- 今年度はこども福祉科の最終学年生が2年生となり、その全員の卒業をもって、閉科した。学校としては過渡期を歩んでいる。教職員の業務負担も多く、施設設備等の不自由さなど様々な問題を抱えている。5年ほど前から取り組んでいる施設設備の老朽化対策の継続をしつつも、こども福祉科関連教室のリニューアルも行う必要がある。平行して教職員待遇の改善や規則・規程の整備、研修の充実などに取り組む。